

長 坂

文化の華の咲き薫る

平戸市立生月中学校
学校だより 第15号
(令和4年11月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏みかし』

グローバルな人材の育成をめざして ～ 平戸市イングリッシュ・パフォーマンスコンテスト ～

11月5日(土)、たびら活性化施設において、市教委主催のイングリッシュ・パフォーマンスコンテストが開催されました。この大会は、平戸市が進めている「イングリッシュ・タウン事業」の一環として、中学生の英語での表現力の向上をめざして行われており、今年度から、県大会が英文の暗唱から、「生徒が考えたことや伝えたいことを、理由を含めて発表する」形式へと変更になったことに伴い、平戸市においても、県大会に準じて名称や内容を変更して開催されました。

本校からは、3年生の出口奈知さんと2年生の川村莉夏さんが、全校生徒の代表として出場してくれました。

当日は、二人とも、日頃の学習で身に付けた英語力と練習の成果を大いに発揮し、堂々と表現力豊かに自分の思いを発表しました。審査の結果、川村さんが優秀賞を受賞しました。二人とも、たいへん立派な発表でした。

第10回 平戸市イングリッシュ・パフォーマンスコンテスト



『この一冊に、ありがとう』 ～ 「読書週間」に係る様々な取組が行われました ～



今年度の読書週間の取組の一環として、11月21日(月)、「読書集会」が開催されました。この取組は、読書の楽しさやすばらしさを知ることで、読書への興味や関心を高め、すすんで本を読もうとする意欲を育てることを目的としています。当日は、生月町内の読み聞かせボランティア団体の「紙風船」の皆さんを講師にお迎えして、読み聞かせ・ブックトーク・ブラックシアターなどが行われました。ご協力いただいた紙風船の皆さん、本当にありがとうございました。

また、読書週間の期間中には、紙風船の方と本校職員による「読み聞かせ」が行われるとともに、国語科の小楠先生の指導による「ビブリオバトル(自分が読んで面白いと思った本を紹介し合うゲーム感覚の書評合戦)」が各学級で実施されるなど、様々な取組が行われました。

なお、本校では、「登校したら、すぐ読書」を合言葉に、朝の読書を実施するとともに、毎週木曜日のメディコンデーなどに、「家族での読書」を奨励しています。保護者・ご家族の皆様のご協力をお願いいたします。

生徒有志によるボランティア活動(その2) ～ 「いきつき勇魚まつり」に協力しました! ～

11月20日(日)、3年ぶりに開催された「いきつき勇魚まつり」に、本校生徒がボランティアとして協力しました。今回、勇魚まつりを主管する「生月地区まちづくり運営協議会」から、開会式の司会進行を中学生で行ってもらえないかという依頼がありました。早速、本校の生徒会役員に打診したところ、司会だけでなく他の役割でも協力したいという生徒の申し出があり、最終的に7名の生徒が司会や受付などにボランティアとして協力することになりました。当日は、司会進行や受付、各種の手伝いで勇魚まつりの成功に大いに貢献しました。ボランティアとして協力してくれた生徒の皆さん、本当にありがとう! また、勇魚まつりには、『生月勇魚捕唄保存会ジュニア』として参加してくれた生徒もいました。多くの生徒が、地域のイベントやお祭り、伝統芸能に関わってくれていることを、大変うれしく思います。

なお、現在、12月17日(土)に開催される公民館主催の『キラキラフェスティバル』のボランティア募集があります。例年どおり、多くの生徒の皆さんが協力してくれることを期待しています。

